



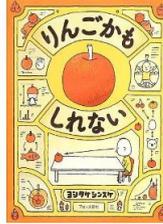
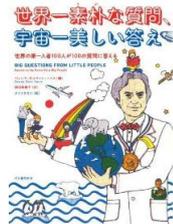
## 科学道100冊 ~「知りたい!」が未来をつくる~

世界は謎だらけ。 人生は壁だらけ。  
未知に挑戦し続ける科学者たちの アタマとココロを覗いてみたら 生きるヒントに溢れていた。  
前に進みたいすべての人に贈る 勇気と方法の科学道100冊  
(科学道100冊委員会)



はじまりは 疑問

湖陵高校図書室 特設コーナーへ



不思議だと思うこと

これが科学の芽です

朝永振一郎

### 果てしない 収集

私は植物の愛人として

この世に生まれてきた

ように感じます

牧野富太郎



### 導かれた ルール



芸術と科学の出会い



自然は曲線を創り、

人間は直線を創る

湯川秀樹

### めくるめく 失敗

失敗?これはうまくいかない

ということを確認した成功だよ

トーマス・エジソン



### まるで 魔法



知識には限界がある。

想像力は世界を包み込む

アルバート・アインシュタイン

### 未来のはじまり

未来を考えない者に、

未来はない

ヘンリー・フォード



～おすすめ 科学道 100 冊より～



- 「センス・オブ・ワンダー」(レイチェル・カーソン 著)  
感動できることが人間の素晴らしさだと思う。
- 「寺田寅彦随筆集」(寺田寅彦 著) 科学者であり文豪と呼ばれている。  
どの文章を読んでも物事の本質についており、とても多くの名言を残している物理学者。

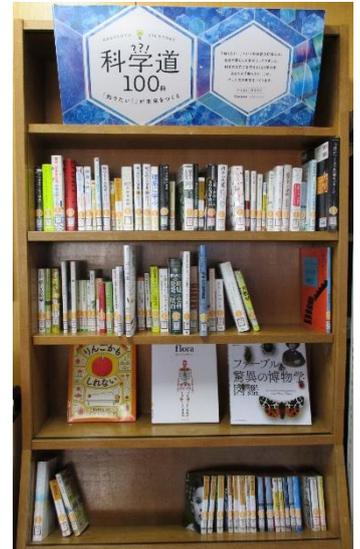
「やわらかな遺伝子」も科学道 100 冊。

「頭の良い人は恋ができない。恋は盲目だから。」  
「自然現象の不思議には、自分自身の眼で驚異しなければならぬ。」  
「疑うがゆえに知り、知るがゆえに疑う。」  
「科学者になるには自然を恋人としなければならない。  
自然はやはりその恋人にのみ真心を打ち明けるものである。」  
「天災は忘れたころにやってくる。」

- 「雪は天からの手紙」(中谷宇吉郎 著)  
寺田寅彦に学び、実験物理学を志す。  
北海道大学で人工雪の作成に世界で初めて成功した。  
雪の結晶って美しいですね。  
北海道大学低温科学研究所設立の礎を築いた。北大を目指す人はぜひ!

- 「ロウソクの科学」(ファラデー 著)  
子どもたちへのクリスマスプレゼント。  
ファラデーの「クリスマス公演」の内容をまとめた本です。  
優しく語りかけるようなことばには、化学への愛が滲み出ています。

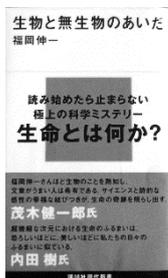
- 「種の起源 上・下」(ダーウィン 著)  
ダーウィンの緻密でありながら、スケールの大きい考察にはいつも驚かされます。  
この論文をまとめていたダーウィンを取り巻く、歴史的な背景を知ることも大切です。  
「ビーグル号航海記」もおすすめです。



「科学道 100 冊」は、  
図書室に入って直進、  
右側の壁にあります。

「科学道 100 冊」は、理化学研究所創立百周年事業として全国の SSH 校に贈呈されたものです。  
100 冊の本からは、何かオーラのようなものを感じました。  
科学道 100 冊委員会の皆様に、感謝申し上げます。

□湖陵高校図書室の本より



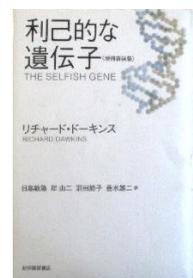
生命とは何か? 生命観が  
変わるかもしれない。



高校生物「オペロン説」  
提唱者による生命哲学



「生命誌」の  
概念を提唱



必読の科学書。グルードの  
「パンダの親指」も合わせて  
読んで欲しい。

□「池内 了」…来年度の SSH 講演会の講師は、中学校の国語の評論文「新しい博物学」の時代の著者、  
池内 了 氏です。湖陵の図書室にも著書がありました。

「科学は今どうなっているの?」 「これだけは読んでおきたい科学の 10 冊」  
「物理学と神」 「物理学の原理と法則」 「考えてみれば不思議なこと」  
「現代科学の歩き方」 「宇宙開発は平和のために」

湖陵高校の図書室に行ってみよう!